

第 16 回 JAPAN ドラッグストアショー 開催速報(第二弾)

発行：日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

3 月 18 日（金）～3 月 20 日（日）幕張メッセにて、日本チェーンドラッグストア協会主催による第 16 回 JAPAN ドラッグストアショーが開催されました。

テーマは「街のトータルサポート。暮らしを守るドラッグストア！～ 加速するセルフメディケーション ～」

開催中の来場者数は

3 月 17 日（ビジネス商談会）	晴れ	1,045 人
3 月 18 日（バイヤーズデー）	曇り	42,598 人
3 月 19 日（バイヤーズデー/一般）	雨	41,606 人
3 月 20 日（バイヤーズデー/一般）	晴れ	42,822 人
合計		128,071 人

※昨年実績

前日	1,154 人	晴
1 日目	42,358 人	曇
2 日目	45,310 人	晴
3 日目	40,682 人	晴
合計	129,504 人	

期間中の総数は 128,071 人の来場となり、目標の 12 万人を大幅に超えました。

なお、ショーの実施概要並びに同時開催されました「標準 EDI（流通 BMS）推進特別セミナー」、「コンプライアンス委員会セミナー」、「第 11 回セルフメディケーションアワード」、「第 4 回健康（セルメ）川柳コンクール」、「勤務薬剤師会特別セミナー」、「調剤事業推進委員会主催セミナー」、「こどもやくざいし体験コーナー」の開催概要並びに結果につきましては後頁をご覧ください。

日本チェーンドラッグストア協会
第 16 回 JAPAN ドラッグストアショー実行委員長
貴島 浩史

本件に関するお問い合わせ先

日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-10 楓第 2 ビル 4 階
TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569

■第16回JAPANドラッグストアショー 実施概要

3月18日(金)～20日(日)の3日間、千葉幕張メッセ4・5・6・7・8ホールにおいて開催し、13万人近い来場者がありました。

前回に引き続き、前日の17日(木)に業界関係者・マスコミ関係者を対象に、ビジネス商談会を開催。14時より18時まで、4ホールにおいてテーマブース2016をはじめ、61社の出店ブースを開放し、1000人以上の来場がありました。

2日目の土曜日はあいにくの雨模様でしたが、趣向を凝らした出展ブースやセミナー、テーマブースに多くの来場者が集まりました。今回の出店社348社参加のブースコンテスト並びに272品(96社)が出品された新商品コレクションは、次のような表彰となりました。

また、イベントステージでは「生島ヒロシの健康情報サミット2016」「蝶野正洋の世界一楽しいAED教室」「セルメ川柳クイズ大会」などで来場者を楽しませました。お子様向けには、人気ヒーローショーが行われ、家族で楽しいひと時を過ごされていました。

テーマブース2016では、「ドラッグストア再成長元年～新しい社会的役割と新マーケットの創造への挑戦～」と題して、「食と健康」「新しい情報提供システム」「普及推進プロジェクトと次世代ドラッグストアビジョン」「セルフチェック機器と検体測定」等について紹介しました。特に、臨時に設置しました検体測定室(協力:日本一般用医薬品連合会)には、1200名以上の方が申込み、血糖値(ヘモグロビンA1c)のチェックをするなど、関心の高さが伺われました。

また、スペースを広くとり、昨年4月に施行された機能性表示食品の内容やスマイルケア食品(介護食品)等を、パネル並びに商品展示で詳しく説明し、売場展開例などでビジュアルに表現しました。来場者はそのパネルの内容のわかりやすさ、さまざまな商品が整理されて一堂に陳列されているのに驚きながら、熱心に見ていました。

そのほか、ロボットの「ペッパーくん」やドラッグストア検索アプリ「どこドラ」(どこでもドラッグストアの略)も人気が高く、多くの来場者の興味を引いていました。

【ブースコンテスト】

総合の部	最優秀大賞	花王株式会社
	大賞	大幸薬品株式会社
	準大賞	大木ヘルスケアホールディングス株式会社
	準大賞	株式会社 コーセー
	準大賞	クラシエホームプロダクツ販売(株)/クラシエ薬品(株)/クラシエフーズ(株)
	優秀賞	株式会社 ジャパンゲートウェイ
	優秀賞	株式会社 井田両国堂
	優秀賞	資生堂ジャパン株式会社
	優秀賞	第一三共ヘルスケア株式会社
	優秀賞	株式会社 太田胃散
	バイヤーズ賞	ハッソー株式会社
	バイヤーズ賞	エステー株式会社
	バイヤーズ賞	エーザイ株式会社
	バイヤーズ賞	アース製薬株式会社
	バイヤーズ賞	株式会社 大山

特別賞の部	協会会長特別賞	ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング(株)
	協会会長特別賞	株式会社 マンダム
	協会会長特別賞	興和株式会社
	実行委員長特別賞	ロート製薬株式会社
	実行委員長特別賞	株式会社 ダリヤ
	実行委員長特別賞	コンフェックス株式会社
	審査委員会特別賞	ホーユー株式会社

審査委員会特別賞	ユニ・チャーム株式会社
審査委員会特別賞	大塚製薬株式会社/大鵬薬品工業株式会社
バイヤーズ特別賞	株式会社 Gypsophila
バイヤーズ特別賞	エスエス製薬株式会社
バイヤーズ特別賞	SHO-BI 株式会社
デザイン賞	株式会社 I-ne
デザイン賞	オムロンヘルスケア 株式会社
デザイン賞	オカモト株式会社

【新商品コレクション】

■業界関係者投票部門

賞名	受賞社名	商品名
日本チェーンドラッグストア協会特別賞	株式会社ウエ・ルコ	泡で洗うエリそでブラシ
第16回JAPANドラッグストアショー実行委員長賞	エスエス製薬株式会社	イブクイック頭痛薬DX
日本チェーンドラッグストア協会 会長賞	江崎グリコ株式会社	LIBERA ミルク

■一般来場者投票部門

賞名	受賞社名	商品名
日本チェーンドラッグストア協会特別賞	株式会社バスクリン	バスクリンクール
第16回JAPANドラッグストアショー実行委員長賞	武田薬品工業株式会社	テレス®Hi シリーズ
日本チェーンドラッグストア協会 会長賞	株式会社ユニマツリケン	おやつにサブリZOOシリーズ

【標準EDI(流通BMS)推進特別セミナー】

毎年恒例となっております「標準EDI(流通BMS)推進特別セミナー」について、今回は「標準EDI(流通BMS)導入の必然性」～2020年問題への対応と課題について～と題して開催いたしました。

はじめに、委員長の私(江黒 純一)と後援をいただいた経済産業省 流通政策課の荒井課長補佐で挨拶をしました。

講演については、はじめにNTT東日本様より、今回のテーマにもあります2020年度問題の発端であります「INSネット(ISDN)データ通信」終了予定の内容について、その背景や影響について詳しく解説いただきました。

次に花王グループカスタマーマーケティング(株)様から、当協会の業界標準化推進委員会の委員として、標準EDI普及活動における当協会の考え方や取組、業界標準導入プログラムについて報告及び解説をしていただきました。また、花王グループの標準EDIの取り組みについてもあわせてご報告いただきました。

次にベンサムネットワーク協会サブネット(株)様より、中小企業についても低コストで対応できるVAN会社の標準EDIの導入について、事例も含めてわかりやすくご紹介、報告をいただきました。

次にみずほ銀行様から、銀行の決済業務と標準EDIの連携について、これまでの取り組みや今後について、詳しく解説をいただきました。

最後に一般財団法人流通システム開発センター(流通BMS協議会)様から、今回のセミナーのまとめと流通BMS導入実態調査の報告、軽減税率に伴うシステム対応などについて、わかりやすくご報告していただき終了いたしました。

参加者はセミナーに参加した方でないといけない具体的な話に熱心に耳を傾けていました。流通BMSの導入や今年度の新しいシステム構築に関わる内容について、大変参考になるセミナーとなったのではないかと思います。

今後も引き続き、標準EDIの普及に向けた活動を積極的に進めてまいります。

《開催概要》

日時:2016 年 3 月 18 日(金)13:30~15:30

場所:千葉 幕張メッセ 国際展示場内4ホール セミナールーム(A)

参加者数:約 120 名

【コンプライアンス委員会セミナー】

昨年6月に発足したコンプライアンス委員会では、ドラッグストアにおけるコンプライアンス意識の向上と実践にむけて様々な活動を行なっています。

今回は、昨年秋に実施したアンケートをもとに、ドラッグストア業界が一丸となってコンプライアンスの向上を図るべく、システム利用によるコンプライアンス違反発生を予防する仕組みの事例を紹介し、啓蒙を目的としたセミナーを開催しました。

セミナーの冒頭、榎屋委員長より挨拶があり、改めてコンプライアンス遵守の重要性を訴えました。

その後、薬剤師や登録販売者の資格に応じたOTC医薬品販売に関するPOSシステムを利用したコンプライアンス遵守について、富士通株式会社 流通ビジネス本部 マネージャー 堀内大輔 氏に講演いただきました。

続いて、調剤業務におけるリスクマネジメントの観点から、株式会社タカゾノ 特販部 プロモーション課 主任 蔵田真紀 氏に講演いただきました。

参加者は、具体的な事例の報告に熱心に耳を傾け、セミナー終了時には講演者との名刺交換を行なう光景も見られました。

コンプライアンス委員会では、今後も会員企業のコンプライアンス遵守に役立つ活動を行なっていく所存です。

コンプライアンス委員長 榎屋 茂康

《開催概要》

日時:2016 年 3 月 18 日(金)15:45~16:45

場所:千葉・幕張メッセ 国際展示場第4ホールセミナールームA

参加数:約 50 名

【第11回セルフメディケーションアワード】

第11回目を迎えたセルフメディケーションアワードですが、今回も店舗で働く専門家、薬学生、一般の方々から広く作品を募集しました。その中から厳正な審査の結果選ばれた、グランプリ候補者の作品発表と最終審査、表彰式が行われました。今回の発表者もいずれも内容が濃く、それぞれの専門性を活かした内容の報告であり、甲乙つけがたいものでした。

今回は、特に一般部門の応募作品から特別賞を選考し、一般の方にも発表を行っていただきました。生活者の視点による発表は、専門家に新たな気づきをもたらす効果があったと思います。

これからも専門知識を活かし、地域社会に貢献するドラッグストアに勤める専門家のレベルアップをアワード等を通じて図っていきます。

セルフメディケーションアワード実行委員長 櫻井 清

《開催概要》 グランプリ候補作品発表並びにグランプリ等表彰

日時:2016 年 3 月 18 日(金) 12:30~14:30

場所:千葉・幕張メッセ 国際展示場 8ホール イベントステージ

参加者数:約 100 名

アワード募集期間:2015 年 10 月 1 日~2016 年 1 月 15 日

応募総数:405 作品

<第11回セルフメディケーションアワード 受賞作品一覧>**■グランプリ**

岡村 実咲 (株)ユタカファーマシー (No. 13004)

テーマ『超高齢社会の中でドラッグストアの管理栄養士ができること』

■準グランプリ

福井 亮太 (株)サッポロドラッグストア (No. 12046)

テーマ『高齢社会におけるセルフメディケーションの推進とドラッグストアの役割』

■会長賞

畑中 まみな (株)サッポロドラッグストア (No. 12023)

テーマ『ドラッグストアにおけるセルフメディケーションの推進について』

■実行委員長賞

氏内 圭一 (株)スギ薬局 (No. 11021)

テーマ『ドラッグストア薬剤師が行う骨折予防に向けたセルフメディケーション支援』

■審査委員長賞

石田 研摩 (株)ユタカファーマシー (No. 14002)

テーマ『薬・栄養・運動の重要性』

■審査委員特別賞

蝦名 志気雄 (株)丸大サクラ中薬局 (No. 12036)

テーマ『地域に必要とされるセルフメディケーションを』

■一般部門特別賞

渡辺 幸彦 (No. 31001)

テーマ：『セルフメディケーションに対し、
地域住民とドラッグストアの専門家との交流と役割について』**<<佳作受賞作品>>****■薬剤師**

岩井 研一郎 (株)ユタカファーマシー

沼久内 祐子 (株)マツモトキヨシ

松山 純 (株)ぱぱす

■栄養士・管理栄養士

日野 鮎美 (株)ユタカファーマシー

尾関 渚 (株)杏林堂薬局

■登録販売者

永井 有子 ドラッグカネコ

橋本 麻美 (株)ぱぱす

■薬学生・薬業専門学校生

菊地 尚子 北日本医療福祉専門学校

笹沼 美友紀 日本医歯薬専門学校

田村 雄紀 日本医歯薬専門学校

【第4回健康(セルメ)川柳コンクール 受賞作品発表】

国民の皆様幅広く遊び心で参加していただくことで、JACDSが取り組んでいるセルフメディケーション推進を広く一般の方に知っていただきたく、第4回目の開催となりました。

国民にセルフメディケーションという言葉を知っていただくという目的が着実に成果をあげていると感じています。

健康(セルメ)川柳コンクール実行委員長 櫻井 清

《コンクール全体概要》

- ・作品募集期間:2015年9月1日~2016年1月31日(5ヶ月間)
- ・応募方法 :パソコン・携帯電話による応募フォームの利用、ハガキ、FAX等々
- ・応募作品総数:約17,000作品
- ・優秀100作品および受賞作品をイベントステージ横に掲示、
- ・受賞作品はイベントステージおよび、レセプションパーティにおいて発表

《受賞作品》

大賞:1作品

こころにも 湿布を貼って くれた母 まさとん

準大賞:1作品

きのうより きょうよりあすに 咲くセルメ 常備薬

日本チェーンドラッグストア協会会長賞:2作品

セルメする きっかけ孫と 薬剤師 だいちゃんZ!
長寿国 総活躍は セルメから ナツタカン

JAPANドラッグストアショー実行委員長賞:2作品

介護なし セルメでできる 子孝行 海老原 順子
いい笑顔 セルメで続く 三世代 はるおキティ

健康(セルメ)川柳コンクール実行委員長賞:2作品

夢一つ 健康寿命 あれば良し 夢半ば
サプリより 孫の笑顔と ウォーキング 春爺

ウエルシア薬局賞:1作品

エステより セルメで目指す 健康美 野口 紀子

麒麟堂賞:1作品

薬剤師 愛を一錠 付け加え 杉村 一日出

クスリのアオキ賞:1作品

百人の 長寿に百の セルメあり ひさし

マツモトキヨシホールディングス賞:1作品

フトメ発 カルメのご飯 セルメ行き うさこ

第一三共ヘルスケア賞:1作品

あせらんと 笑うてなはれ ぼちぼちな ことのは

大正製薬賞:1作品

杖よりも セルメで歩く 老いの道 高良 中

【勤務薬剤師会特別セミナー】

勤務薬剤師会では3月20日(日)に「処方箋の検査データをどう活用するか」～ドラッグストア薬剤師に求められる情報提供について～と題し、栄養学が専門の城西大学 薬学部准教授 須永 克佳先生にご講演をしていただきました。

講演内容ですが、テーマにもありますとおり、検査データを基にどうやってOTC医薬品や機能性表示食品などを販売していくか、ドラッグストアに来られるお客様への情報提供の方法について、解説していただきました。

トクホや栄養機能性食品、機能性表示食品との違いや機能性表示食品の申請時のエビデンスがあること、医薬品と同じようにアレルギーのある方へのすすめ方や注意点など、実際の商品を例に取り詳しく解説をしていただきました。ドラッグストアショーのテーマブースと関連する内容にもなっていて、たいへん勉強になる講演でした。

勤務薬剤師会では今後ともご要望に応じて、セミナー等の開催を模索いたしますので、ご意見やご要望等があれば、事務局までご連絡ください。

勤務薬剤師会 会長 小田 兵馬

《開催概要》

日時:2016年3月20日(日)11:00～12:30

場所:千葉 幕張メッセ 国際展示場内4ホール セミナールーム(A)

参加者数:約30名

【調剤事業推進委員会主催セミナー】

厚生労働省連続講演会「地域ケア ドラッグストアの強みをどう活かしていくか」

「かかりつけ薬局」と「健康サポート薬局」。国は、薬局のあり方に関して戦後初めて将来像を示しました。そこで、調剤事業推進委員会では、国から担当官を招聘し、連続講演会を開催しました。

極めて充実した資料が提供され、説明も大変明快でしたので、充実した講演会になりました。薬局・薬剤師にとっては辛口の内容でしたが、期待の表明と受け取るべきでしょうし、その是非はともかく国が何を考えているのか、今後どうしようとしているのか、会員企業にとって多いに参考になったものと思われまます。

委員会では、これからもタイムリーな企画の実現に努めてまいります。

調剤事業推進委員会 委員長 榎原 栄一

《開催概要》

日時:2016年3月20日(日)

13:00～14:30第一部 平成28年度調剤報酬改定のポイント～抜本改正のめざすもの

厚生労働省 保険局医療課課長補佐 安川孝志 氏

14:50～16:00第二部 薬局・薬剤師の将来像と健康サポート薬局の役割～今後の展開に向けて

厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課医薬情報室長 田宮憲一 氏

場所:千葉 幕張メッセ 国際展示場内4ホール セミナールーム(A)

参加者数:約100名

【こどもやくざいし体験コーナー】

ドラッグストアの調剤を身近に知ってもらおう、薬剤師の仕事に関心を持ってもらおうと企画しました。親子連れに人気で、連日、長蛇の列、整理券を増刷するほどでした。子供用の白衣を着て、台に乗って自動分包機で調剤するお子さんの姿は、絶好の被写体だったようです。薬に見立てたお菓子を3種類ももらえるだけでなく、子供用の白衣を持って帰れるようにしたのも好評でした。白衣の子供たちを会場で目にした方も多いのではないのでしょうか。

イベントとしては大成功でした。企画から実施、消耗品の調達や薬剤師の派遣にご協力いただいた調剤事業推進委員会メンバー企業の皆様に心から感謝申し上げます。

調剤事業推進委員会 委員長 榎原 栄一

《開催概要》

日時:2016年3月19日(土)・20日(日) 10:00～17:00

場所:イベント・ステージ近くの特設ブース

参加者数:約500組